

(2) 利用における問題
レジャー利用と漁業の輻輳

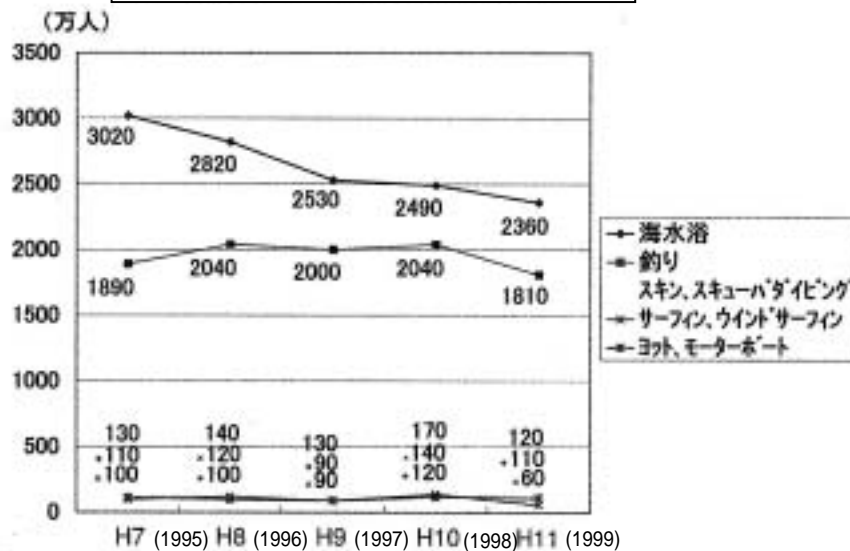
1. マリンレジャー人口

平成7年(1995)～11年(1999)の5ヶ年では、マリンレジャーの代表的な存在である海水浴人口は減少傾向となっている。

スキンドайビング・スキューバダイビングを始め、その他のマリンレジャーの参加人口は、平成7年(1995)以降変動しつつもほぼ横ばい状態にある。

海面遊漁者数は年々増加傾向にあり、平成10年(1998)で延べ3,868万人となった。その約85%が釣りとなっており、内訳は磯や岸壁等での釣りが2,096万人、船釣りが1,230万人となっている。

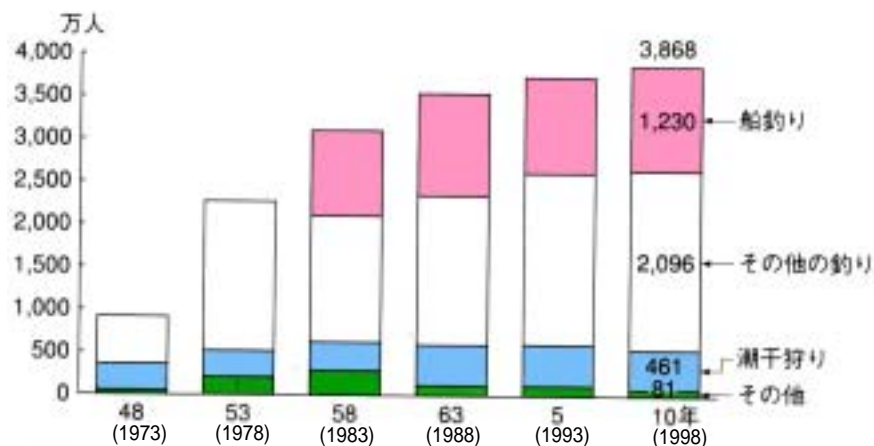
図 マリンレジャー参加人口の推移



(注) レジャー白書 2000〔財〕余暇開発センター資料より作成

(出典：平成12年版 海上保安白書)

図 海面における遊漁者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」

注：昭和48年及び53年の「その他の釣り」は、船釣りを含む。

(出典：図説 漁業白書 平成11年度)

2. 利用者間調整に関する取り組み

平塚市における海面利用ルールづくり

契機

平塚市の前面に広がる相模湾は、地曳網やシラス船曳網の好漁場であり、相模川には、アユが遡上する。また、相模川河口は、海運・舟運の拠点として、多くの漁船やプレジャーボートが航行する。この河口と河川域で水上バイクが増加するにつれ、水上バイクによる無謀運転が漁船・遊漁船やサーファーとトラブルとなったり、騒音や排気ガスが釣り人や河川敷を訪れる市民に不快感を与えるなど問題となっていた。

これらの問題を解消するため、平塚市内の水産関係団体、海洋レジャー団体、行政機関などが集まり、『「平塚」海・川・浜の利用調整ルールづくり委員会』を組織、マリンレジャーと漁業が共存を図ることを目的とした、自主ルール『「平塚」海・川・浜のルールブック』を制定した。

組織・構成メンバー

平塚市漁業協同組合、相模川第二漁業協同組合、相模川マリーナ各社、地元マリーナ経営者、平塚市(事務局：みなと水産課)、神奈川県、国土交通省京浜工事事務所、横浜海上保安部、平塚警察署、平塚市消防署、PW安全協会、湘南ひらつかビーチクラブ

ルールの特徴

- ・プレジャーボートの船長向け　～相模川河口の航行ルール～
「相模川河口は、入り船優先とする」など4項目で構成。罰則規定は特にな
い。
- ・水上バイクライダー向け　～水上バイクの航行ルール
「操業中の漁船の周辺には接近せず、大きく徐行して迂回すること」など、
海・河口・相模川の3エリアに分けた16項目により構成。同じく罰則規定は特
にない。

パトロール状況

- ・マリーナでは、これまで自主パトロールを月1～2回実施している。

図 平塚市・海面利用ルールブック



(出典：「平塚」海・川・浜のルールブック)

図 統一ルール(標識)の例



(出典：「平塚」海・川・浜のルールブック)

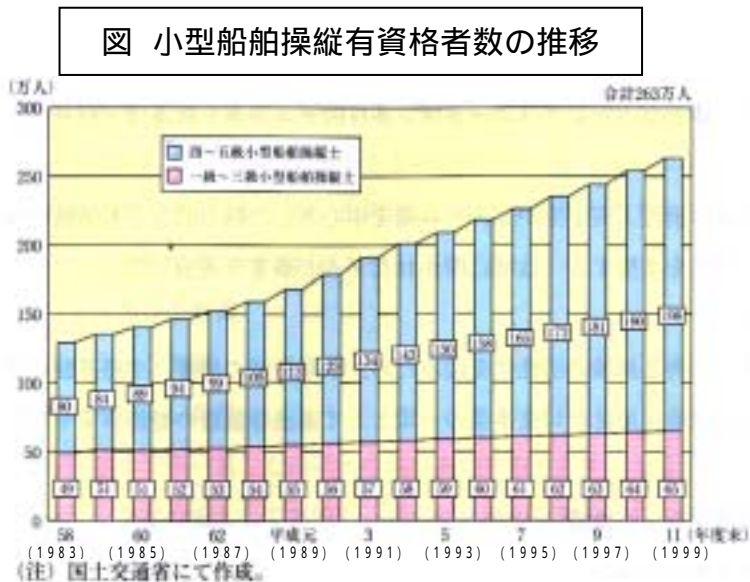
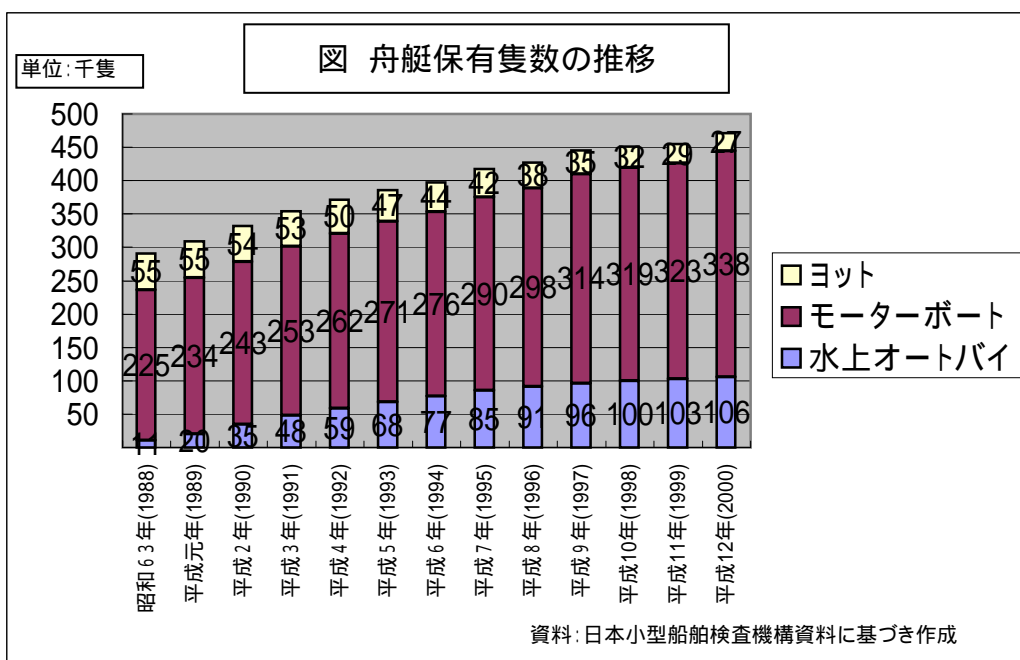
レジジャー利用同士の輻輳

1. 舟艇保有隻数および小型船舶有資格者数

船舶保有隻数は昭和40年(1965)より増加を続け、平成12年(2000)までに471千隻が保有されている。昭和60年頃より水上オートバイが登録され始め、平成12年(2000)では全体の約23%を占める106千隻が保有されている。

小型船舶操縦士有資格者数が昭和58年(1983)より増加を続け、平成11年(1999)までに263万人が免許を保有している。一級～三級までの伸び率が低いことに比べ、四級の伸び率が高い。

近年の水上オートバイ等海洋性レクリエーションのニーズに対応するため、新たに航行水域を1マイルに限定した五級小型船舶操縦士資格を創設し、平成11年度から運用を開始した。



(出典:平成13年版 観光白書)

2. 小型船舶と遊泳者等との事故の状況

- ・近年における国民のレジャー・活動に対する関心の高まりや多様化を背景として、プレジャー・ボートを利用した水上レジャーは活発化している。また、水上オートバイや可搬型ボート等手軽に楽しむことができる様々なタイプの船舶の登場等に伴い、水上レジャーは、幅広い年齢層の人々が手軽に参加する形態に変化してきている。
このように水上レジャーが活発化・多様化する中で、小型船舶の海難・事故は増加傾向にあり、その中で遊泳者等に危害、損害等を及ぼす事例も多く生じている状況にある。

水上バイクと遊泳者の事故例

平成12年(2000)7月30日 9:00 衝突

北海道の海水浴場で遊走中の水上オートバイが、海水浴場沖合数メートルの海域で、素潜りした後浮上した遊泳者と衝突。遊泳者は頭部裂傷・頸椎捻挫の負傷。

平成13年(2001)8月5日 16:50 衝突

香川県庵治町鎌野海水浴場沖約5メートル付近で、遊走中の水上オートバイが遊泳者と衝突。遊泳者は頭などを打って重症。

平成13年(2001)8月14日 15:40 衝突

三重県熊野市新鹿海水浴場の浜辺近くに停泊させていた水上オートバイを沖合いに向け発進した直後、遊泳中の女兒9才と衝突。女兒は病院に搬送され頭部打撲(全治3日)を負傷。

(出典：小型船舶操縦士制度等検討小委員会資料(国土交通省))

人と船舶との衝突事故状況

平成8年(1996)-12年(2000)	： 年平均	負傷21人，死亡1人
水上オートバイ		負傷59人，死亡2人
プレジャーボート		負傷28人，死亡1人
漁船		負傷7人，死亡1人
遊漁船		負傷5人，死亡0人
その他		負傷7人，死亡3人

(出典：小型船舶操縦士制度等検討小委員会資料(国土交通省))

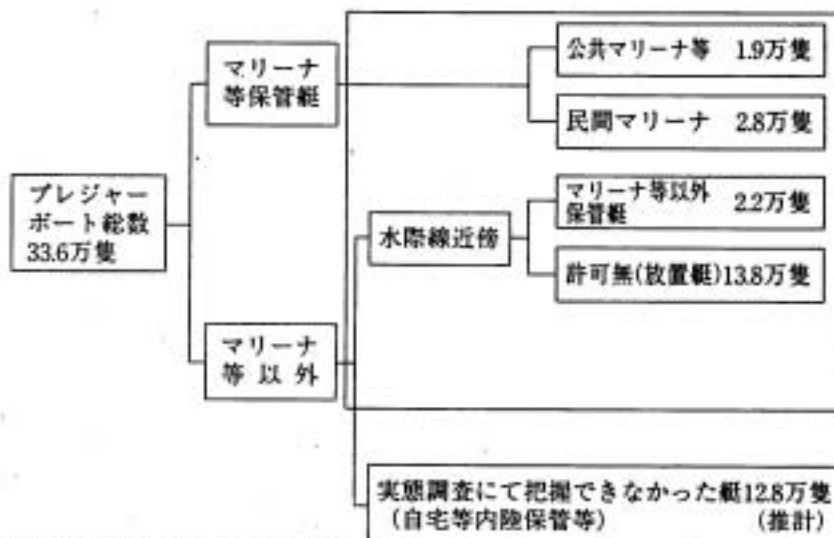
プレジャーボート等の放置

1. プレジャー - ボ - トの保管の現状

我が国におけるプレジャー - ボ - トの保管実態を平成8年(1996)に調査したところ、プレジャー - ボ - トの総数33.6万隻のうち20.8万隻(62%)の保管場所が確認できた。

マリ - ナ等に保管されていたプレジャー - ボ - トは、4.7万隻(14%)であった。

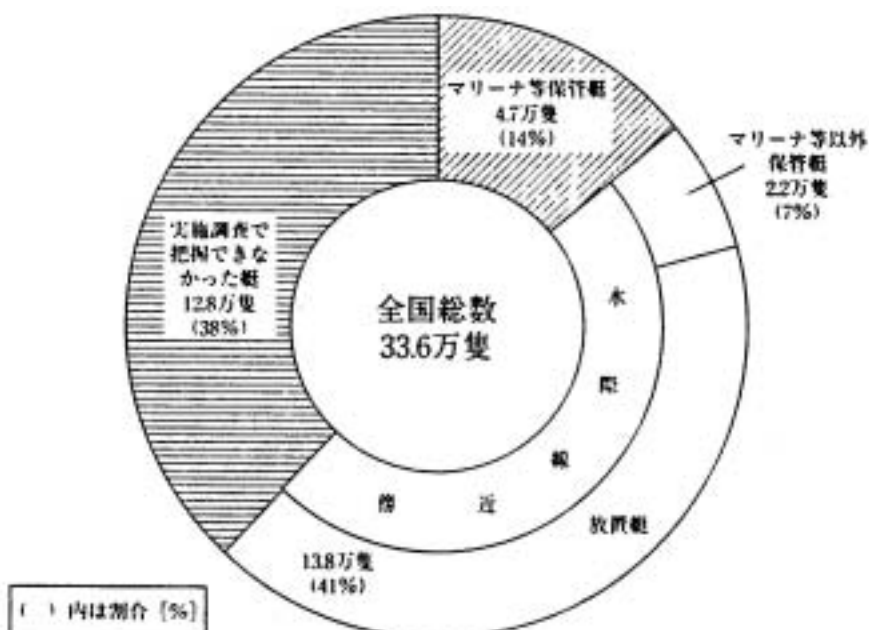
水際線近傍に放置されていたプレジャー - ボ - トは、13.8万隻(41%)であった。



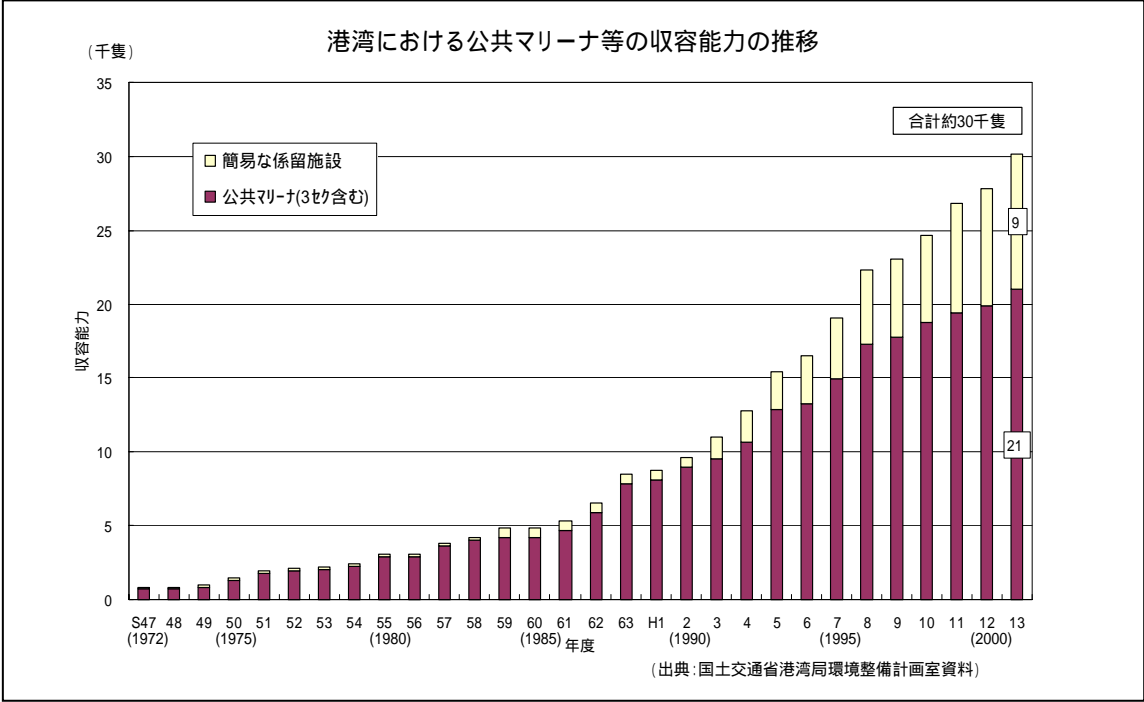
資料：国土交通省港湾局環境整備計画室調べ

(注) 1. 調査は当時の運輸省港湾局、水産庁及び建設省河川局の3省庁合同で1996年に実施された。

2. 調査範囲は全国全ての港湾、漁港、河川。



資料：国土交通省港湾局環境整備計画室調べ



近年では、ポートパーク等放置艇対策のための簡易な係留施設が整備されている。

(1) 大分港大在地区ポートパーク

「ポートパーク」とは、運河、水路等の既存静穏水域などを活用した小型船舶の簡易な収容施設とその近隣に駐車場、トイレ等必要性最低限の施設を整備することにより、放置艇の収容促進及び周辺環境の改善を図るもの。



(2) 貞山運河プレジャーボートスポット



(3) 増毛プレジャーボートスポット



北海道開発局のホームページ（下記 URL）より

(http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/info/ippan/koho/graph/1998su/t98su_5.htm)

近年では、河川マリーナも整備されるようになってきた。

表 河川利用推進事業により完成した河川マリーナ一覧

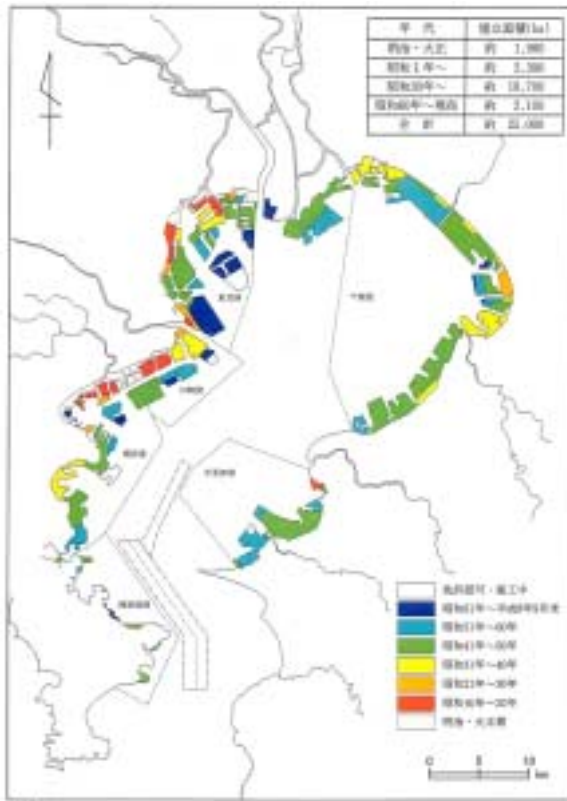
都道府県	市町村	名称	供用年月	収容能力
静岡県	小笠郡大東町	大東マリーナ	平成4年(1992)7月	70
三重県	安芸郡河芸町	マリーナ河芸	平成5年(1993)4月	378
鳥取県	東伯郡大栄町	マリーナ大栄	平成5年(1993)8月	171
埼玉県	八潮市	大場川マリーナ	平成6年(1994)4月	167
埼玉県	川口市	芝川マリーナ	平成8年(1996)5月	105
新潟県	北蒲原郡中条町	荒川マリーナ	平成10年(1998)4月	140
静岡県	浜名郡雄踏町	宇布見公共マリーナ	平成11年(1999)4月	400
静岡県	湖西市		平成12年(2000)4月	235

(出典：国土交通省資料)

臨海部の土地利用の問題

1. 大都市圏臨海部における土地の状況

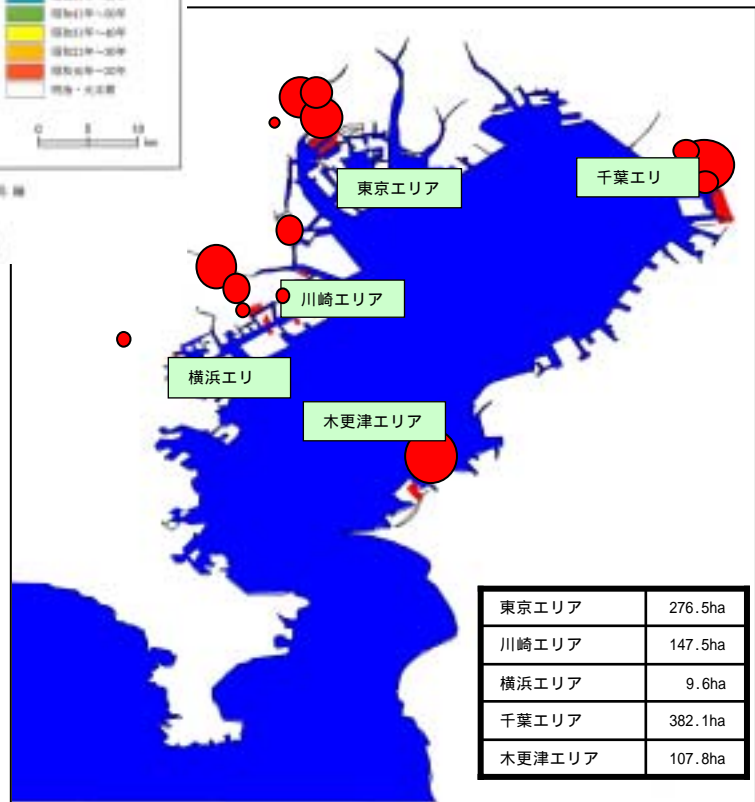
東京湾においては、これまで約25,000ha の埋立がなされてきている。
 一方、産業構造の変化等により臨海部に発生している工場跡地等の大規模低未利用地は、東京湾臨海部全体で923.5haとなっている。



出典：
 ・埋立面積図：新時代の東京湾、平成8年4月、運輸省第二港湾建設局 編
 ・埋立面積：運輸省第二港湾建設局資料

東京湾の年代別埋立の推移

東京湾の臨海部低未利用地



(出典：2001年5月 国土交通省港湾局資料)

2. 臨海部における低未利用地の現状

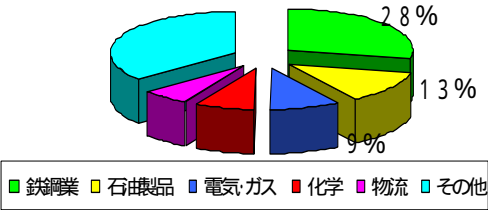
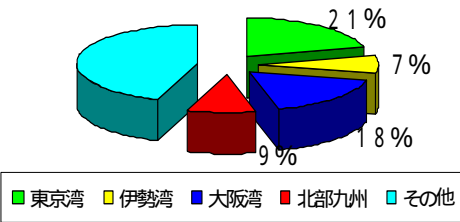
臨海部低未利用地の現状

臨海部低未利用地の現状

民間所有約5,000ha (国土交通省港湾局調べ)

三大湾 + 北部九州
で半数

3業種(鉄鋼、石油製
品、電気・ガス)で半数

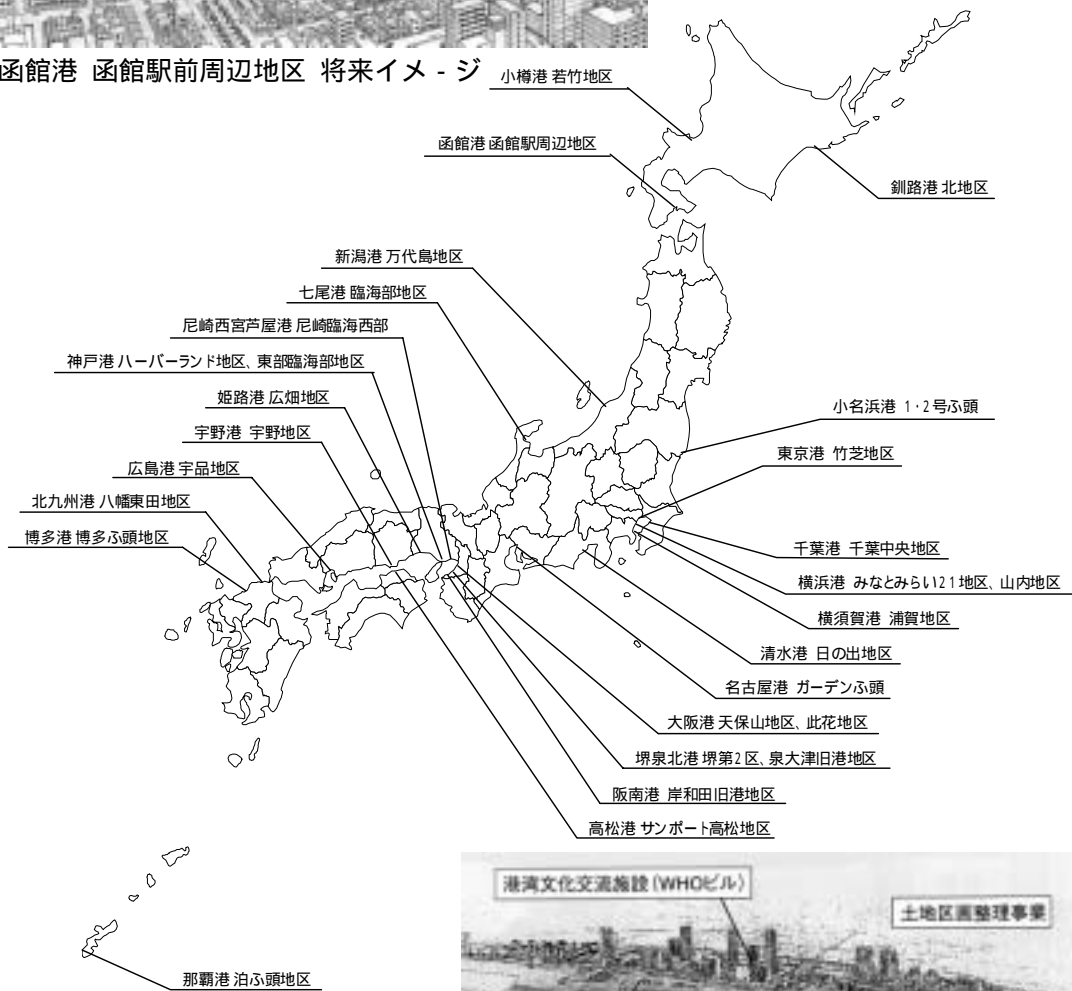


3. 臨海部再開発プロジェクト

市街地に隣接した臨海部では、水際線の魅力を生かしたウォータフロント空間や商業・業務機能等の導入への要請が高まっており、土地利用の転換を図り、豊かで活力ある港湾都市空間の形成を図っている。



函館港 函館駅前周辺地区 将来イメージ



神戸港 東部臨海部地区 将来イメージ

(出典：国土交通省港湾局資料)